

水舟の里づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

須原地区では以前より景観形成に努めてきたが、平成17年に「須原宿景観形成住民協定」を締結し、水舟の里として更なる活動を広げてきた。その一環として水舟等の自作による設置に取り組むこととした。

事業内容

- 中山道須原宿の面影を継承する伝統ある「水舟」3艘と、大桑村「花いっぱい運動」に呼応した木枠外観のプランター40基を住民の手作りにより製作・設置した。
- 来訪する観光客のために、江戸時代からの史跡箇所である「本陣」「高札場」「一里塚」「升形」に木製看板の製作・設置をした。
- 水舟の里として水舟の所在箇所を記載した「水場案内図」1基を製作設置をした。



事業効果

- 水舟の維持、更新については宿場町住民の願いであり、本年も多数の住民参加により事業を遂行することができた。
- 水舟の里として平成18年より整備しているが、宿場町に潤いとやすらぎを与えることができ、日本風景街道「こころのふるさと“木曾路”中山道」の一員として認定も受けたこともあり、最近では水舟を見学する観光客の姿も現れ始めた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 古くなった水舟の更新をしていくのと同時に、水舟を加えた水場18箇所の整備もあわせて考え、各水場にネーミングをし「水舟の里」としての体裁を整えたい。
- 水源地修理、送水管取替等の維持管理も考慮しなくてはならないが、現在は水舟に経済効果がないので土産物等の開発を急ぎ、地域の活性化を図ると同時に水舟の維持管理費用に利益の一部を還元する形にしていきたい。

【選定のポイント】

旧中山道の宿場町としての地域資源を生かした住民活動であり、地域協働や観光資源創出としてモデル性が高い。

団体名	須原宿景観形成住民協定組合 (大桑村)	事業タイプ	ハード事業
連絡先	大桑村役場 総務課	事業費	2,139,778円
電話	0264-55-3080	支援金額	1,380,000円